

社会貢献、CSR等の取組方針・取組状況

サントリーは「水と生きる」企業です。水を育む森を守り、水を大切に使い、きれいにして還す活動、すなわち「水のサステナビリティ」の実現を事業活動における最も重要な課題と認識しています。

工場の水源涵養エリアを中心に、国や地方自治体、地元の方々、学識経験者の皆様と協働して「天然水の森」と名づけた水源涵養活動を全国13都府県16カ所、約7,600haで展開しています。活動にあたっては事前に十分な森林調査を行い、エリア固有の自然環境や生態系に十分配慮し、高い水源涵養機能を持った森づくりを進めています。また、「天然水の森」を「水と生命の未来を守る森」と定義し、森林土壌の保護と育成に努め、生物多様性のバロメーターとして、愛鳥の視点を導入し、生態系ピラミッドの頂点である猛禽類が訪れ、繁殖に成功するような森林を目指しています。

京都モデルフォレスト活動としての取組

京都エリアにある3つの工場(サントリー酒類株式会社京都ビール工場・同山崎蒸溜所・サントリー食品工業株式会社宇治川工場)の水源涵養エリアでの森林整備活動に取り組んでいます。



社員による森林整備  
(長岡京市)



作業道の開設  
抜根作業  
(井手町)



獣害防止柵  
(和東町)

モデルフォレスト活動への思い(感想、課題)

京都での活動は、「竹林整備」「人工林の間伐」「受光伐」「獣害防止柵の設置」「環境に優しい作業道の開設」「ヤシマットによる土壌流失防止工」等の専門家による森林整備を実施する他、林業に携わる人材の育成支援にも取り組んでいます。一方、子供たちと森を再生する環境教育「カブトムシの森づくり」や松枯れから山を守る「マツ山再生プロジェクト」等を実行し、地元の行政及びボランティアの方々やサントリーグループの地元工場・営業拠点等の社員なども協働した森林整備活動も行っています。

森林には多くの整備課題がありますが、学識経験者の皆様や専門家の方々にもご相談し、共に問題解決に取り組んでいます。この京都にあっても、あるべき森のモデルとなるように5年10年30年と計画性のある整備活動を続けて行き、後世の子供たちのために残して行きたいと思っています。

活動データ

◆企業・団体

サントリーホールディングス株式会社  
〒530-8203 大阪市北区堂島浜2-1-40  
サントリーワールドヘッドクォーターズ  
〒135-8631 東京都港区台場2丁目3-3  
担当部署 エコ戦略本部エコ戦略部  
(サントリーワールドヘッドクォーターズ内)  
電話：03-5579-1513

◆協定・活動エリア

- ・2005年3月「天王山周辺森林整備推進協議会」(大山崎町・大阪府島本町)に参画。合計面積約250ha(内、京都府内160ha)
- ・2005年6月「西山森林整備推進協議会」(長岡京市)に参画。合計面積約800ha。
- ・2010年2月「天然水の森 きょうと南山城」(木津川市・井手町・和東町・笠置町・南山城村)の協定締結 合計面積約870ha
- ・2012年3月「天然水の森 きょうと西山」(長岡京市)の協定締結。合計面積約60ha(前述の「西山森林整備推進協議会」のエリア内)



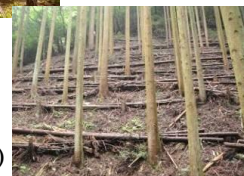
皆伐した竹林を天然林へ更新(大山崎町)  
(切った竹は獣害防止柵として活用)



土壌流失防止のためのヤシマット工(木津川市)



マツ山再生プロジェクト(大山崎町)  
(マツを元気にするため地掻き)



人工林の筋工間伐(木津川市)